



※ 本書面の写しは、手続開始前に相手方全員に送付します。

記載例

※	相手方	本籍 (国籍)	大阪 都道 府県 大阪府 大阪市中央区大手前4丁目1番
		住所	〒 540-0008 大阪府大阪市中央区大手前4-2-14
		フリガナ氏名	オオサカ ウメオ 大阪 梅夫
			大正 昭和 平成 ○年○月○日生 令和
※		本籍 (国籍)	都道 府県
		住所	〒 —
		フリガナ氏名	
			大正 昭和 平成 年 月 日生 令和
※		本籍 (国籍)	都道 府県
		住所	〒 —
		フリガナ氏名	
			大正 昭和 平成 年 月 日生 令和
※		本籍 (国籍)	都道 府県
		住所	〒 —
		フリガナ氏名	
			大正 昭和 平成 年 月 日生 令和

(注) 太枠の中だけ記入してください。※の部分は、申立人、相手方、法定代理人等の区別を記入してください。

申 立 て の 趣 旨

相手方は、申立人に対し、相手方が被相続人亡大阪太郎から遺贈を受けた土地及び建物につき、遺留分として4分の1に相当する物件を返還するとの調停を求めます。

申 立 て の 理 由

- 1 申立人と相手方の父大阪太郎は、平成〇年〇月〇日に死亡し、相続が開始しました。相続人は、被相続人の長女である申立人と長男である相手方だけです。
- 2 被相続人は、平成〇年〇月〇日付け自筆証書遺言で、相手方に別紙遺産等目録記載の財産を遺贈し、相手方はこの遺言に基づき平成〇年〇月〇日付けで別紙目録記載の各不動産の所有権移転登記手続をしています。
- 3 申立人は相手方に対し、前記遺贈は申立人の遺留分を侵害しているので、遺産の4分の1に相当する物件の返還を内容証明郵便で請求しましたが、相手方はこれに応じませんので、本件の申立てをしました。